

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成16年10月28日(2004.10.28)

【公開番号】特開2001-304262(P2001-304262A)

【公開日】平成13年10月31日(2001.10.31)

【出願番号】特願2000-118979(P2000-118979)

【国際特許分類第7版】

F 1 6 C 33/10

F 1 6 C 17/02

F 1 6 C 17/08

G 0 2 B 26/10

【F I】

F 1 6 C 33/10 Z

F 1 6 C 17/02 A

F 1 6 C 17/08

G 0 2 B 26/10 1 0 2

【手続補正書】

【提出日】平成15年10月14日(2003.10.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

内面に動圧発生溝が構成された軸受穴と、前記軸受穴に挿入された回転軸とを備え、前記回転軸は前記軸受穴の開放端側に向かって径が小さくなるテーパ部を有し、前期軸受穴は前記回転軸の前記テーパ部に対向する位置に溝を設け、前記テーパ部に対向する前記溝の深さを前記動圧発生溝の深さより0~60μm大きく構成した流体軸受装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

【課題を解決するための手段】

上記問題を解決するために本発明の流体軸受装置は、内面に動圧発生溝が構成された軸受穴と、前記軸受穴に挿入された回転軸とを備え、前記回転軸は前記軸受穴の開放端側に向かって径が小さくなるテーパ部を有し、前期軸受穴は前記回転軸の前記テーパ部に対向する位置に溝を設け、前記テーパ部に対向する前記溝の深さを前記動圧発生溝の深さより0~60μm大きく構成したものである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】